

産業基盤への金融

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2025.6.10

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

産業金融

産業金融は単なる金融を超えて、産業界の特定ニーズに応じた資金供給の工夫を追求するものである。理想的には、金融が産業界に適切な資金供給を行い、産業の発展を支える役割を果たすことを目指し、産業界の資金需要に応じて、資本構成と産業関連の仕組みを整備し、民間の金融機能を強化することに集約される。LCCに対する航空機のオペレーティングリースは、新興企業の航空業参入を容易にし、業界の発展に貢献するとともに、投資家にとっては、航空会社の信用リスクを遮断した投資を可能にする。同様の動きは、規制改革(緩和)を断行すれば、どの産業でも起き得ると考えられる。

オペレーティングリース

オペレーティングリースとは、リース会社が物件を所有し、その物件を貸す仕組みである。ファイナンスリースとの決定的な違いは、モノの所有権、要は、危険負担の所在の違いである。借りる側は、モノに関する危険を負担しなくてよいことになり、そこに借りる側の利益がある。また、資産と負債の両方が消えて、負債の削減による財務体質の強化と経営効率の改善にも繋がる。一方、貸す側は、モノに関する危険を負担しているので、その危険に見合う収益の増加を要求できる。借りる側はモノに関する危険を免れ、かつ財務安定性を得る分、高い費用を払うので、ローリスク、ハイコストである。貸す側のハイリスクには、借りる側のローリスクが対応し、貸す側のハイリターンには、貸す側のハイコストが対応するのである。オペレーティングリースの対象となるモノは、その危険を管理できることが必要で、技術革新が速くて、陳腐化の危険が大きいものや、モノとして一般性がないものは対象になり得ない。

動産・債権担保貸付(ABL/Asset Based Lending)

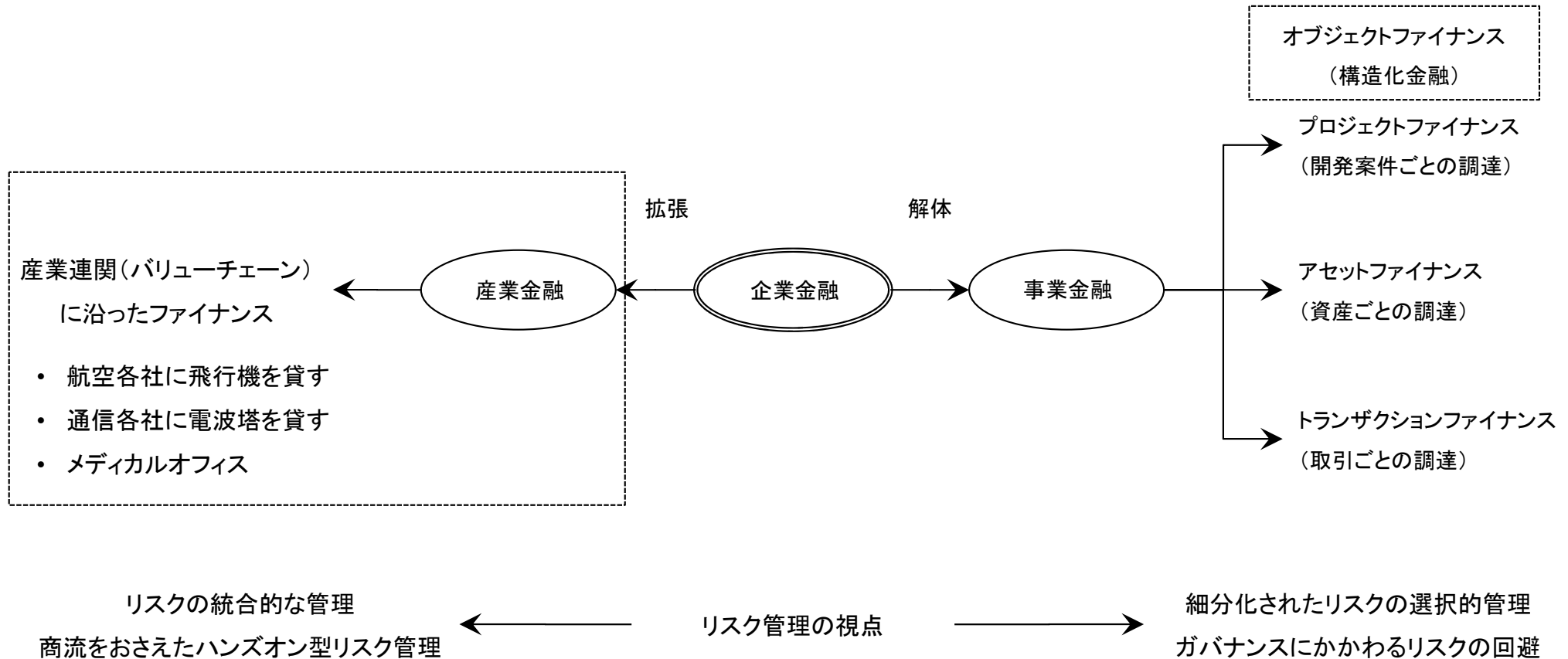
企業の在庫、売掛金等の流動資産や機械、設備を担保として行う企業向け融資の一形態。担保権の登記を第三者への対抗要件とする。企業は担保資産の状況を定期的に報告する。事業活動に連動する資産を担保とすることで融資に柔軟性があり、返済能力に関する企業との情報の対称性が確保できることで、より安全確実な融資となりえる他、個人保証への依存を減らす効果も期待できる。企業の新たな資金調達之道として、登記制度などの環境整備を通じて政策的に普及促進が図られている。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

企業金融から事業金融へ、そして産業金融へ

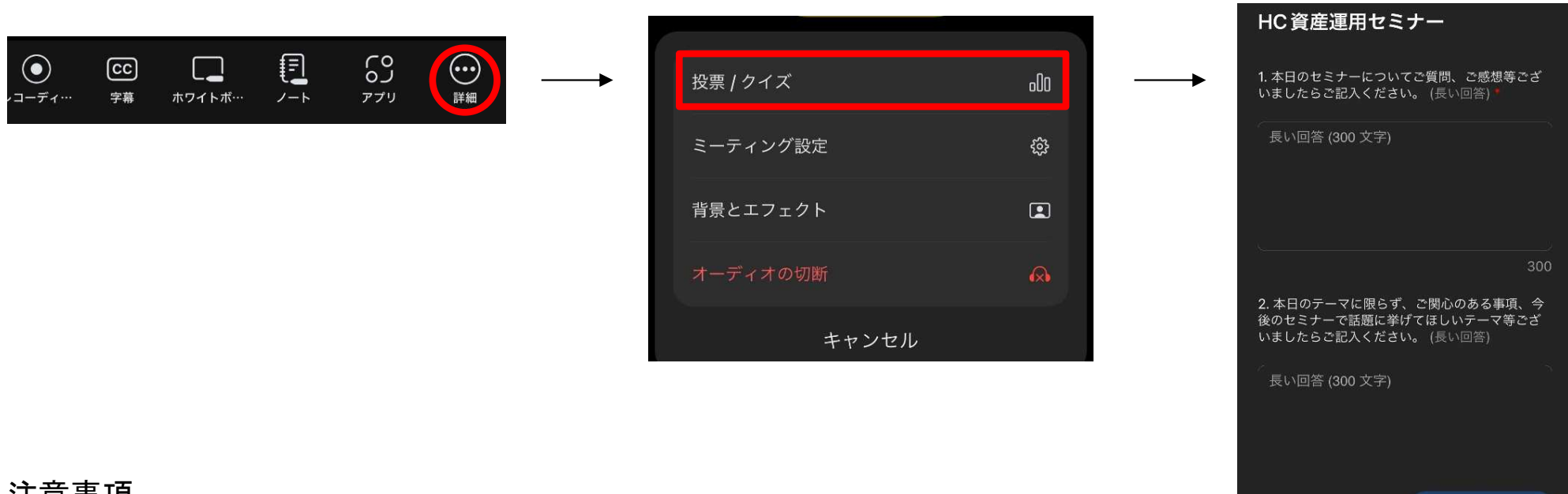
株式や債券・融資などの伝統的な資産は、伝統的な企業金融のあり方を前提にしたものである。その企業金融の構造が変われば、資産の構造が変わるのは自明の理

- 新しい資産が生まれる(いわゆるオルタナティブ)
- リスク管理の視点が変わる
- 企業統治(ガバナンス)の視点が変わる。即ち、伝統的な企業金融では、企業統治こそが最大の、かつ管理困難なリスクだが、事業金融は、そのリスクを特定事業の範囲内に限定できる



講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。